



「大丈夫 きっとうまくいくよ」

第33号

各施設ホームページには、法人ホームページからアクセスしてください。

<http://www11.ocn.ne.jp/~hakukou>

各施設のホームページにメールボックスがあります。ご意見、ご感想をお寄せください。

平成 26 年 3 月 1 日 社会福祉法人 薄光会 広報委員会発行

本部、太陽のしずく ケアホーム COCO	〒299-1607	千葉県富津市湊 1070-3	☎ 0439-67-3711
豊岡光生園	〒299-1742	千葉県富津市豊岡 3535-1	☎ 0439-68-1711
相談支援センター天羽			☎ 0439-68-1833
三芳光陽園	〒294-0825	千葉県南房総市上堀 280	☎ 0470-36-3211
鴨川ひかり学園	〒299-2854	千葉県鴨川市代 1297	☎ 04-7099-3311
ひなたホームズ			
湊ひかり学園	〒299-1607	千葉県富津市湊 934-18	☎ 0439-70-6551

風と語る

『活力ある法人を目指して』

新しい年も早二カ月が過ぎようとしています。

平素より社会福祉法人薄光会の各施設・事業所に対しまして温かい支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、職員の皆様には初春を健やかに迎え、気持ちも新たに、再び力強く歩み出しておられることとお喜び申し上げます。

さて、今まさにロシアのソチで冬季オリンピックが熱戦を繰り広げておりますが、昨年九月に西暦二〇二〇年夏季オリンピックの開催都市が東京に決定したことは記憶に新しいことと存じます。その決定に至るまでに国民は一体となって応援し、国内は大変な盛り上がりを見せました。久しぶりの明るいニュースでした。

前後して経済分野では、安倍内閣のいわゆるアベノミクスが功を奏したか、株価が上がり、景気も上向きになる兆しを見せております。閉塞感が世の中に漂う中に一筋の春陽が射した気がいたしました。

折しも、国連障害者権利条約が国会で批准され、すでに障害者差別解消法などの国内法も整備されております。世の中が確実に変化してきているということを実感する今日この頃でございます。なおのこと気を引き締めて、時代の要請にこたえるべく、法人ならびに各施設・事業所の運営に邁進する所存でございます。

ところで、私どもはこの三月に悲願であった豊岡光生園の改築・改造工事を終えようとしています。七ユニットにリニューアルした園舎がお目見えするわけですが、利用者の生活も一新されて、より家庭的な雰囲気であったりと過ごせるものと、利用者ともども期待に胸を膨らませております。

これも多くの方々のご助力と励ましがあつたればこそと、感謝の念に堪えません。重ねて厚く御礼申し上げます。

梅や水仙が可憐に咲いて、もう菜の花の季節です。利用者一人ひとりに真摯に向き合いながら、活力ある法人を目指していこうと念じております。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 薄光会

理事長 山崎照海



改築・改造工事が進む豊岡光生園



園だより

【12月 12日】(去年、今年) 二題

『新しいクリスマス』



毎朝、霜が降りるようになった十二月。街はクリスマスモード一色です。

豊岡光生園も、リニューアル工事が半分完成し、新しいユニット(少人数の居住空間)での生活がスタートして四か月、これもまた新しいクリスマスを迎えました。

今年のテーマは「リニューアル」のクリスマス。四つのユニットがそれぞれ趣の違うクリスマスを楽しむことになったのです。窓にサンタやトナカイのシールを貼るユニット。天井から眩いばかりの金や銀の装飾を吊るしたユニットなどなど。それぞれに工夫しています。利用者さんもそれぞれに期待を膨らませます。いつもはテレビの画面に夢中の椎名さんもキラキラ輝く装飾に目を奪われ、装飾を取ろうと手を伸ばしています。

さて、クリスマス当日。オードブルやクリスマスケーキでテーブルの上は華やかに彩られました。豪華なディナーに、「ああ、いいなあ。」のわくわく盛

り上がる空気は、と思っていたら、

「待って！ 待って！」と、御馳走奉行の職員の声がだいに大きくなります。

「パーティーじゃん。」と、あちらこちらから伸びる手。

「サイレントナイトでしょー！」

ようやく落ち着いたペースに持ち込めたと思っていると……右手にお肉、左手にケーキを驚つかみにし、「満悦の椎名さんの姿がそこ」。

口の周りは、すでにケーキのクリームで真っ白です。

職員は、あれやこれや夢見たクリスマスだっただけに「椎名サンタでリニューアル？」と大笑いするやら苦笑いするやら、慌ただしいディナーも「終わり良ければすべて良し」。利用者さんの笑顔や職員の良い声が絶えないクリスマスを過すことができました。

川名 翔太

『豊岡、年の初めの例として』



ユニットになって初めて迎えるお正月。お部屋の中においしそうな食べ物や物の香りが漂っています。皆さんのお腹も空いてくる頃、食卓には食器が並べられ、鯛やおせち料理が準備されました。

その様子を見ていた司さんは、早々と食卓の椅子に腰掛け、目の前に並ぶ御馳走にゆっくり手を伸ばしています。

皆さん待ちきれそうもないので、グラスにビールを注いで乾杯。

司さん、おせち料理をほおばりながらお酒も進み……なにやら少しずつ様子がちよつと……

酔ってきたのでしよう、食事が進むにつれて鯛のしっぽに手を伸ばそうとして飾りの葉を掴んだり、自分のグラスではなく職員のコップを持っていたり……。

始めは酔ったしぐさに笑みもこぼれましたが、何度も「ビールくれ！」とコップをつき出したり、人のお皿に手を出したりで、とうとう、「司さん、ほどほどにして！」と声を荒げてしまいました。いや、心の声ですけど……。

だって正月ですもの。でも、でもね、五十歳を過ぎても賑やかすぎる宴会部長の司さん、酔った勢いとはいうものの、もうすでに散らかし放題、ひとりご満悦の様子に、すみませんが新年早々一言申し上げました。

「司さん、一緒に片付けてくださいませね。」

言いながら司さんのほうを見ると、ソファでこくりこくりと居眠りを始めていました。小さな溜息をついて、ひざ掛けを掛けてあげて、

「一年の計か。お酒はほどほどに、今年一年健康でお願いしますよ。」と、つぶやいた私でした。

太陽のしずく

新年会&成人式



今年は、渡辺脩仁さん、岩切瑠巴さんの二名が新成人でした。ピシッ！と決まったスーツ姿に、「おおおお！」「かっこいいー！」の声が上がりました。二名は着慣れないせいかわモジモジと……(笑)

会が始まる前に職員がスーツの上着を羽織らせている場面は、親が子を送るような空気が漂い、とても印象的でした。女子職員なんてちょっぴりウルツしたりして……

いざ、会が始まるとみんなからの視線にちょっぴり緊張した面持ちで成人としての意気込みを示してくれました。カラオケを楽しんだり、余興の職員仮装に驚いてみたりと賑やかでした。

これからも、日々、おしごとを共にする中で一緒に笑ったり、泣いたり、喧嘩したりする仲間だと思います。新しい風を吹かせてくれそうですね！

(寺久保)



おめでとう

20



勤務委員の伸介さん

毎朝欠かさずに一日のおしごと内容を確認している伸介さん。「おはよー！」と太陽のしずくにいった後は、真っ先にホワイトボードへ向かいます。JOB表おしごと割当表が「ピー」されていないと、そのことも「JOB」忘れてるぞ」とチェック！ いえいえ、お叱りが入り、いつも職員はタジタジです。



その日のおしごと内容をチェックし終えると近くの職員を見つけては、「おおおおい！ 休み！ 休みー！」と、今日はOOさんがいないということを知らせてくれます。伸介さんと同じJOBチームの方がいないと分かる、指で数字の形をつくり人数を教えてください。「今日は〇人！」と男女別の人数にも良く気づいてくれます。上手く伝わると、とても嬉しそうに二回のジャンプ、伝わらない職員がいようものならば、時間をかけていない利用者の特徴を捉えた表現で伝えようとして一生懸命です。少し前までの伸介さんは名前を「ペンで書く」という手段で伝えようとしていましたが、今では「話す」といった方法へ変わり、日々、変化が見られています。やり取りが深まったかなと、職員間では嬉しい話題になっています。

(チノ)



COCO de COCO

吉田屋での出会い



ケアホームCOCOでは、利用者と毎日、近所のスーパーに食材を買いに出かけていく。

そのスーパーでは、高校生のアルバイトがたくさんいて、レジ打ちの高校生が定期的に入れ替わる。

そんなある日の事、勝手の家の金子さんがレジの後に袋詰めを一人で頑張っていると、長髪のおとなしそうな女の子が暖かな眼差しを向けている。



彼女の金子さんを見る眼差しに興味を覚えて、しばらくの間、その高校生を見つづけるたびに、金子さんを促して必ずそのレジに行くようにした。やはり彼女は、袋詰めをしている金子さんをジッと見ており、支払いをしている支援員の私を全く気にしていない様子であった。

思わず「いつも見えていますよね?」と微笑みながら声を掛けると、少し間をおいて彼女の口からもれたのは、何と「かわいい!」という言葉だった……。

(かわいい!……か。)

予想外の答にビックリしたが、タイミング



良く金子さんも笑顔でこちらを見ていた。

もう五十になろうとする白髪が目立ってきたこの陽気で太った小さなおじさんと、言葉少なで端正な顔立ちの女子高校生の、レジの中と外との出会いと組み合わせに面白さを感じないわけにはいかなかった。

出会いは偶然に。

* * *

残念なことに月日が経つと、その高校生はアルバイトを辞めてしまったらしく、会う事はなくなった。

でも、金子さんは、持ち前のコミュニケーション力で、新しいアルバイトの高校生とも、いつも会話をしている。

金子さん 「んんんっ(これ別にしてね)」
店員さん 「了解しました。」

さあ、今年はどうな出会いと可能性があるのだろうか??



春



(庄司)

新年を迎え、新しい住人がケアホームMOMOにやってきました。その住人は、ちえ子さんです。もう一人? いやもう一体、お人形さんのだいちゃんもです。ちえ子さんがいっときも離さない大切なお人形さんです。

彼女は、以前からホームのみんなとは顔見知りで、すんなり溶け込んでいました。いつの間にか主役になり、みんなに取り囲まれていたほどです。人数が増えて、会話が今まで以上に飛び交い、それがホームに活気をもたらしている、しみじみ感じました。

世話人さんが夕食を作る時には、メニューを聞くために話しかけたり、「いただきます。」「ごちそうさま。」「おいしかった。」「ごちそうさま。」「ご顔を言ったりと、元気な声が響き渡っています。



そんな様子を見て、元気のある声は、人にエネルギーを与えてくれると、あらためて感じました。ホームのみんなの、明るい笑顔が、そのことを物語っていたのです。

ちえ子さんの夢は、自分の部屋を、かわいく飾る事です。ぜひ、叶えてあげたいと思います。早速、ちえ子さんの帰りを待つ、だいちゃん人形の家が、ケアホームMOMOに新築されました。

(山村)





学園新聞

「趣味多才って うらやましい」

まんまる顔にくりくりヘアで愛嬌たっぷりのかずま君はこの春、中等部の一年生になります。

好奇心旺盛のかずま君には、様々な趣味があります。たとえば、字を書く事、それに絵を描く事、そして写真を撮る事など、私たち職員でも数えきれない位たくさんのおもしろい趣味を持っています。何よりすごいと思うのは、彼の器用な足さばきです。仰向けになって両足を上げ、サッカーボールを足の裏に乗せるとコロコロと上手に転がします。勢いあまって落ちそうになったボールも、ひょいとバランスを整えてコロコロコロコロ……。

「やっぱり、凄いー」と、いつも見入っています。いつの間にかうつ伏せでもボールを転がせるほどの熱中ぶりです。



また、「ここ最近の彼のマイブームに」交換があります。交換が始まったのはまた最近のことである自宅まで送迎を行い車から降りると、急にかずま君は振り返って、私に「おつかれさまでした、まだおねがいします！」と頭をペコリ。

予想外の出来事にお母さんも私も思わず笑ってしまいました。

そんな様子をキョトンとした顔で見ながら、かずま君はいつものようにデジカメを覗きました。いいショット、撮れましたか？

走り出した車のバックミラーから見える小さなかずま君は立派なカメラマンのようでした。



(糸日谷)



「今年のクリスマスは」

北風吹く寒い二月二日に利用者の方々が楽しみにしていた恒例のクリスマス会が行われました。

何かいつものクリスマスとは少し雰囲気が違うような……ステーションにはヤシの木が並び、職員の服装は半袖のアロハシャツ。女性職員の頭にはハイビスカスの髪飾りも。

やっぱり今年は何が違う！

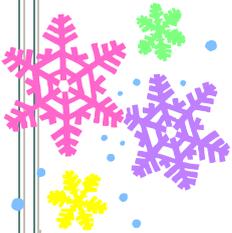
今年のクリスマス会のテーマは南国をイメージしたトロピカル・クリスマス。司会者は職員が扮する波に乗って登場！プログラムではボランティアの方の素敵なバンド演奏や、タヒチアンダンスで大盛り上がり！これには音楽好きな利用者の方皆さんもノリノリでした。又、タヒチアンダンスを披露してくださった女性グループのセクシーな衣装が目が釘付けになった男性陣も多かったのではないのでしょうか？



↑
これは違う！

このように、今年は一風変わったクリスマスでしたが皆さん楽しく過ごせたようです。

(神子)



光陽

「介」と「医」と

「老」と「笑」

今年の漢字というわけではありませんが、三芳光陽園でお年寄りとお通いす日々の中で、この四文字は常に意識せざるを得ない漢字です。

平成二十五年年度の三芳光陽園は、利用者の入退所の激しい年となりました。

一月末現在で、退所されたお年寄りが十二名、入所されたお年寄りが十四名。例年、入退所者は五〜六名ですから、入退所を調整する相談員は大忙しの一年となりました。

退所されたお年寄りの内訳は、施設で看取らせていただいた方が四名、本来は「医」の分野であった看取りが平成十八年の制度改正から介護保険施設でも認められ「介」の分野での対応が可能となったものです。

急変または症状が悪化されて入院となり、亡くなられた方が五名、療養病床へ転籍された方が三名。加齢とともに「医」の比重が高くなっていくことは避けられないことだと思いますが、朝、普通にご飯を食べられていた方が、急変され、救急車を見送って何日もしないで亡くなられたという話を聞くのは、なんともせつないものです。

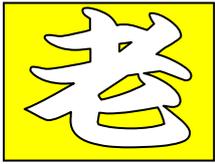


転籍された方の訃報が新聞に載っていると、なぜか目についてしまいます。「介」ではお世話していくのが難しいということや、常に「医」があるところがその方とご家族にとって安心ができる場所と考え、話を進めています。移られてからの期間が短いと考えさせられてしまいます。「医」が確かに必要な状態だったけれど、「介」で看取ってあげられなかったものかと……。

入所された時は、普通食を食べていた方が、おかげ・刻み食となり、ミキサー食に変わっていきます。元気に歩かれていた方が、足元が不安になり、車いすが必要になり、ベッドでの生活が長くなっていきます。「老」っていくということ、いずれ自分もゆく道と思いつながりながら、お年寄りの「笑」に助けられながら一日、一日を過ごしています。



認知症という「医」でもどうしようもない病があります。全ての方ではありませんが、認知症の方は、「医」で克服できない癌という病に、「笑」で最後まで過ごしてしまう方がいます。

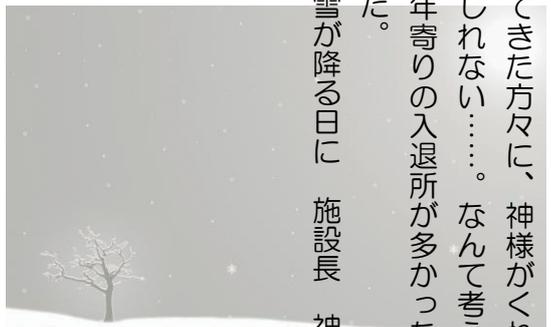


「NHK歳末たすけあい」より助成をいただき、加湿空気清浄機、スチーム式加湿器他二十万円相当の設備を整備させていただきました。インフルエンザの季節、加湿器はフル稼働しています。ありがとうございます。



もしかすると、認知症というのは、一生懸命に生きてきた方々に、神様がくれた贈り物なのかもしれない……。なんて考えてしまうほど、お年寄りの入退所が多かった平成二十五年でした。

雪が降る日に 施設長 神谷 亨



「NHK歳末たすけあい」より助成をいただき、加湿空気清浄機、スチーム式加湿器他二十万円相当の設備を整備させていただきました。インフルエンザの季節、加湿器はフル稼働しています。ありがとうございます。



ひかり通信

「生きていく強さ」



人には、毎日二十四時間が与えられる。使い方は個人の自由裁量に任され、無駄に使ったからといって明日もらえる時間が減るわけでもない。また「時間」というものは毎日精算されてしまうので、貯めておくことはできない。つまり「今」使うしかない。

平成二十五年度も終盤。新しい年度がやってくる。「あつという間だな」と、月並みな言葉も言ってみたくなるが、振り返れば、たくさんの「瞬間」と「今」があった。

満開の桜が新年度を迎えてくれたお花見。そこで美味しそうにお弁当を頬張る飯塚さんと鳥海さん。

記録的猛暑だった夏。江見海岸に行った海水浴で、浮き輪を上手に使って泳ぐ小倉さんに、砂浜を楽しそうに走りまわる亀田さん。夏祭りに来園した歌手のステージを、最後まで最前列で応援する小柴さんに、カキ氷を笑顔で食べる文代さん。

「持ってる男」のタスキを締め、今年も運動会を盛り上げる昭太さんに、おやつゲット競争を張りきる市川さん。遠足で行った横浜。港町を楽しそうに見つめる友佳さんに、街のお店で書いてもらった似顔絵を大切に持ち歩く尾澤さん。



土本さんはクリスマス会で素敵な乾杯の音頭をとってくれ、里菜さんはフラメンコの演技を興味深そうに見ていた。

ほかに、GLAYの曲に合わせて踊る小高さんに、毎日かかさずノートを担当ことにまとめてくれる堀江さん。

思えば、これら一つ一つの光景は、みんなが一生懸命に、そして全力で「今」生きていた瞬間の一片だ。

「人生は時間でできている」最近読んだ本にこんなフレーズがあった。どんな人でもあとのくらい自分自身に「時間＝人生」が残されているのかわからない。だからこそ「今を生きる」「この瞬間を生きる」ことが人にとって大切な使命であり、その積み重ねが明日へ、そして未来へつながっていく道なのかもしれない。来年度もたくさんの「今」を大切に歩んでいこう。



(岩崎)

「愛すること 愛されること」

鴨川市で、従来まで行なわれてきた「社会福祉大会」が今年度から「かもがわ福祉でまちづくりフェスティバル」にかたちを変え、社会福祉発展のために貢献された方々を顕彰する場とともに、市内で福祉活動を展開されている各種団体の活動紹介、交流の場となりました。



私たち鴨川ひかり学園も日頃の活動や行事を紹介する「活動紹介ブース」として参加。

当日は、福祉関係の人々に限らず、多くの方々がブースに足を運んでくれ、貴重な交流機会となりました。



【編集後記】

ヨーロッパのサッカーチーム、ACミランに入団した「本田圭佑」に、大相撲初場所ので綱とりに挑戦した「稀勢の里」ソチ五輪フィギュアスケート代表の「高橋大輔」に、野球選手の「ダルビッシュ」そして女優の「北川景子」

実は、みんな私と同じ年。「魅せる☆同年代」の活躍に刺激を受け、「俺も頑張ろう!」と思う今日この頃でした。

(法人広報委員 岩崎)

